



Electronics for the Future

決算説明会 2022年3月期 通期業績

2022年5月11日

ローム株式会社

代表取締役社長 松本 功

- **2022年3月期 業績報告**

- 業績報告
- 売上の変動要因
- 営業利益の増減分析
- 市場別売上推移

- **2023年3月期 計画報告**

- 業績報告
- 売上の変動要因
- 営業利益の増減分析
- 市場別売上推移

- **設備投資の状況**

- **在庫の状況**

- **受注残高の推移**

- **株主還元**

- **中期経営計画の進捗**

- **ロームの戦略**

2022年3月期 通期 実績 業績報告 (前年比)

(単位：億円)

	'22/3期 実績	'21/3期 実績	増減額	増減率
売上高	4,521	3,598	+923	+25.6%
営業利益	714	384	+330	+85.7%
(対売上比率)	(15.8%)	(10.7%)	-	-
経常利益	825	406	+419	+103.0%
(対売上比率)	(18.3%)	(11.3%)	-	-
純利益	668	370	+298	+80.6%
(対売上比率)	(14.8%)	(10.3%)	-	-
EBITDA	1,135	786	+349	+44.3%
(対売上比率)	(25.1%)	(21.9%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (112.86円) (106.20円)

期末レート(¥/US\$) (122.39円) (110.71円)

2022年3月期 通期 実績 業績報告 (3月4日公表値比)

(単位：億円)

	'22/3期 実績	'22/3期 3月4日公表値	増減額	増減率
売上高	4,521	4,500	+21	+0.5%
営業利益	714	690	+24	+3.6%
(対売上比率)	(15.8%)	(15.3%)	-	-
経常利益	825	750	+75	+10.1%
(対売上比率)	(18.3%)	(16.7%)	-	-
純利益	668	600	+68	+11.4%
(対売上比率)	(14.8%)	(13.3%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (112.86円) (112.31円)

期末レート(¥/US\$) (122.39円) (115.44円)

(単位：億円)

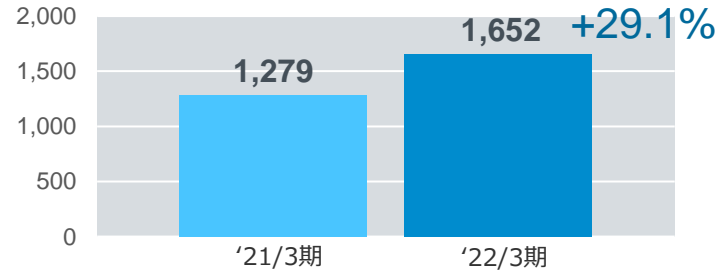
通期売上高

3,598億円 **+25.6%**
4,521億円

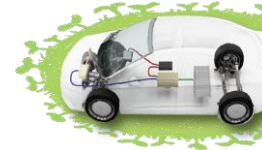
'21/3期通期
実績

'22/3期通期
実績

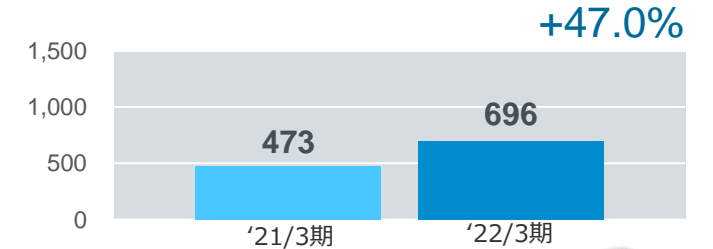
車載



- インフォテインメント分野 (+170) (オーディオ/ナビ/パネル) (+58)
- パワートレイン分野 (+117)
- ADAS分野 (+29)
- ボディ分野 (+57)



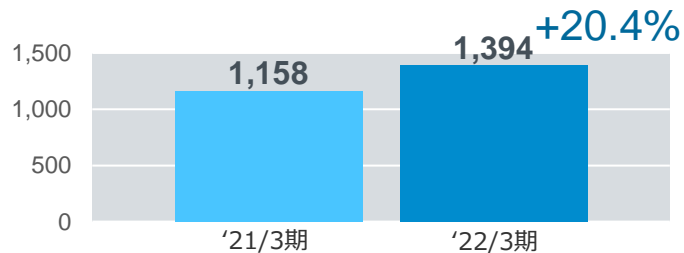
産機



- FA分野 (+113)
- エネルギー分野 (+12)
- インフラ分野 (+3)
- その他 (+94)



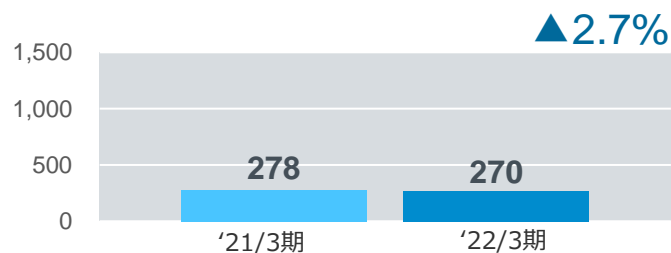
民生



- AV関連 (+91)
- 家電分野 (+80)
- その他 (+65)



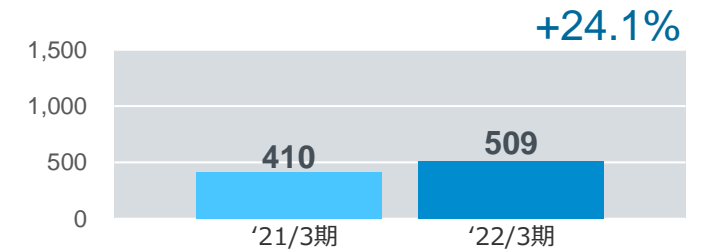
通信



- 通信分野全般 ▲8



事務機

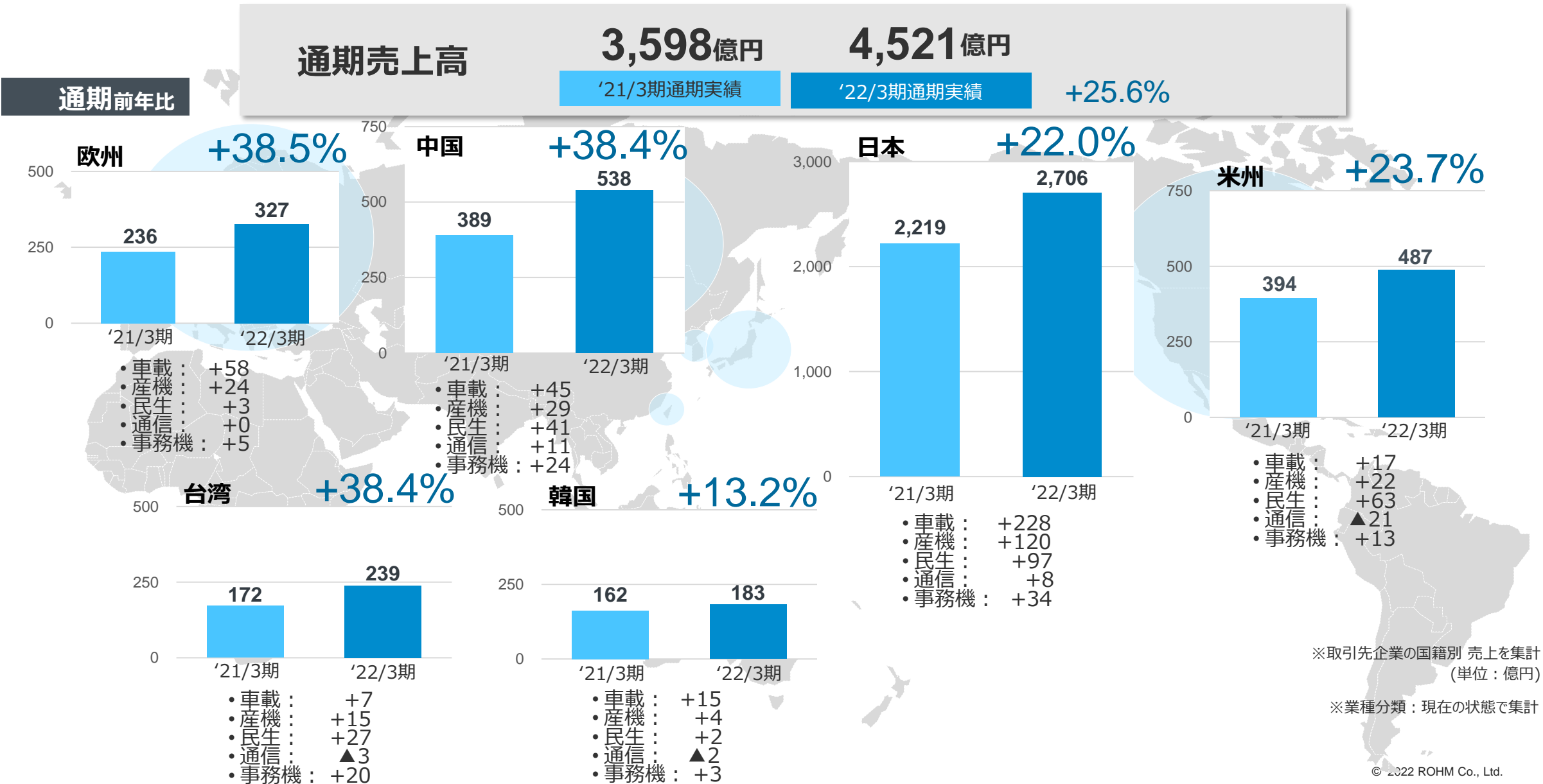


- PC、OA機器分野 (+73)
- 決裁端末向け (+26)

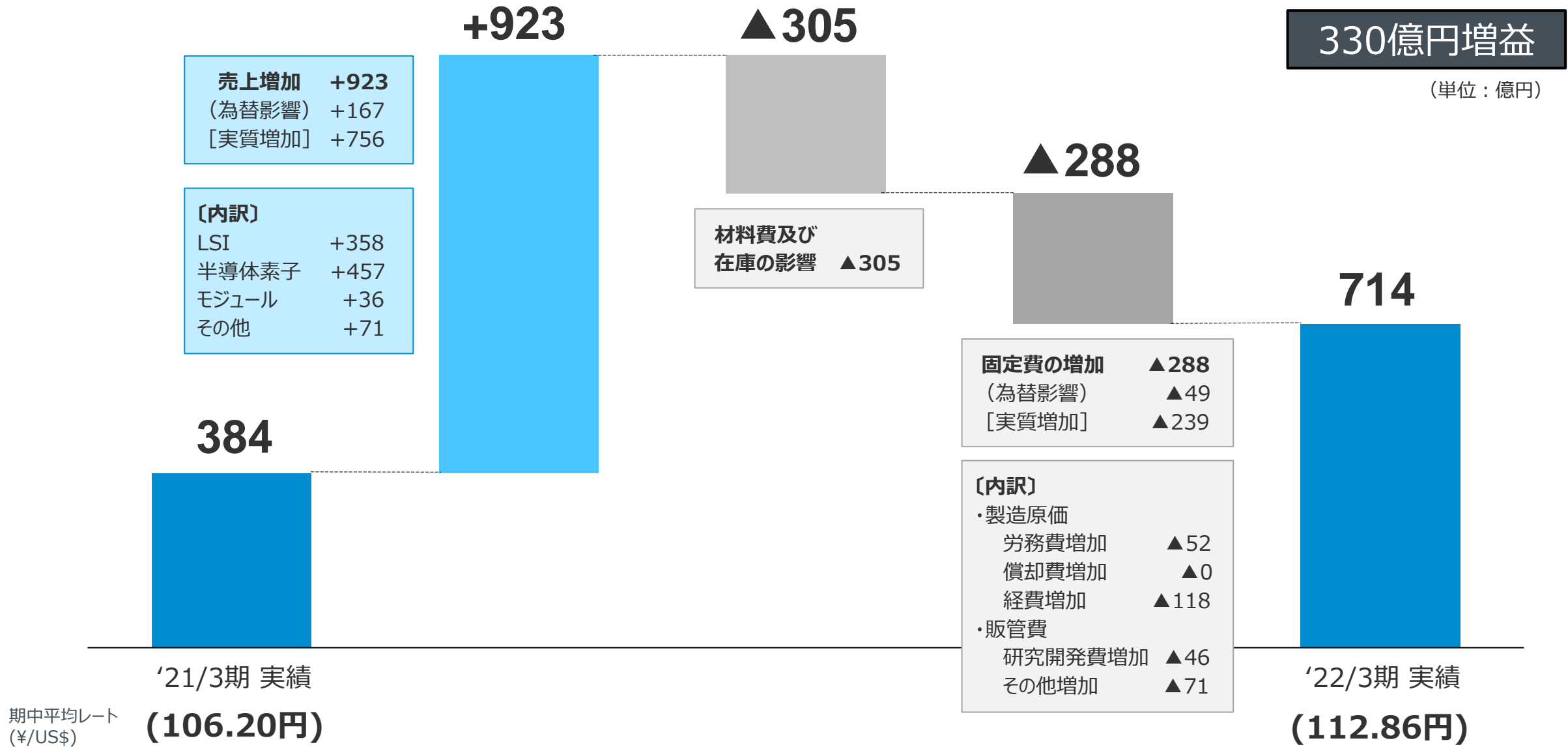


※業種分類：現在の状態で集計

2022年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 ('21/3期実績 vs '22/3期実績)



営業利益 増減分析 ('21/3期実績 vs '22/3期実績)



期中平均レート (¥/US\$)
(106.20円)

'22/3期 実績
(112.86円)

2023年3月期 通期 計画（前年比）

（単位：億円）

	'23/3期 計画	'22/3期 実績	増減額	増減率
売上高	5,100	4,521	+579	+12.8%
営業利益	760	714	+46	+6.3%
（対売上比率）	(14.9%)	(15.8%)	-	-
経常利益	740	825	▲85	▲10.4%
（対売上比率）	(14.5%)	(18.3%)	-	-
純利益	600	668	▲68	▲10.2%
（対売上比率）	(11.8%)	(14.7%)	-	-
EBITDA	1,395	1,135	+260	+22.9%
（対売上比率）	(27.4%)	(25.1%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (115.57円) (112.86円)

期末レート(¥/US\$) (115.00円) (122.39円)

(単位：億円)

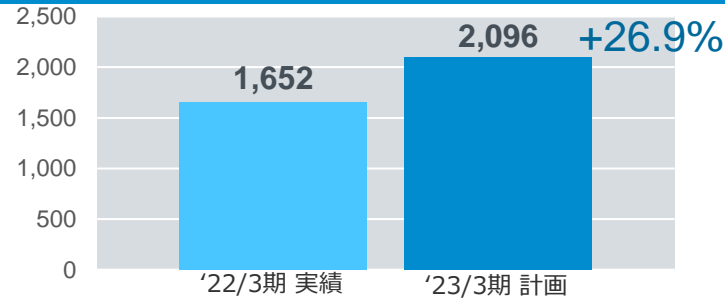
通期売上高

4,521億円 **+12.8%**
5,100億円

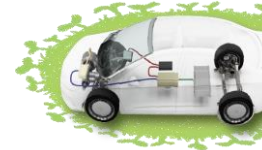
'22/3期通期
実績

'23/3期通期
計画

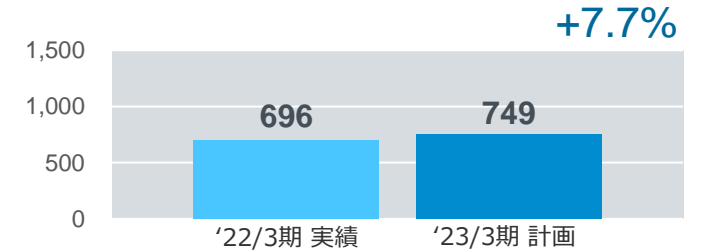
車載



- インフォテインメント分野 (+174) (オーディオ/ナビ/パネル) (+44)
- パワートレイン分野 (+167)
- ADAS分野 (+32)
- ボディ分野 (+72)



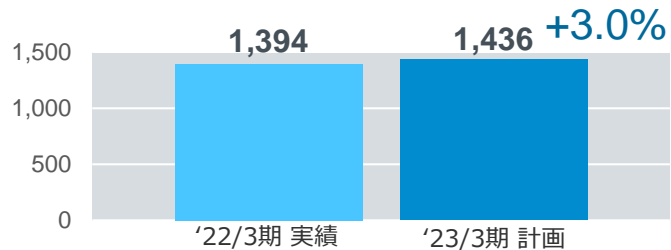
産機



- FA分野 +30
- エネルギー分野 +13
- インフラ分野 ▲1
- その他 +11



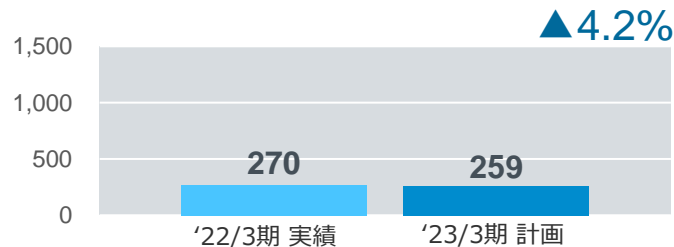
民生



- AV関連 +43
- 家電分野 +17
- その他 ▲19



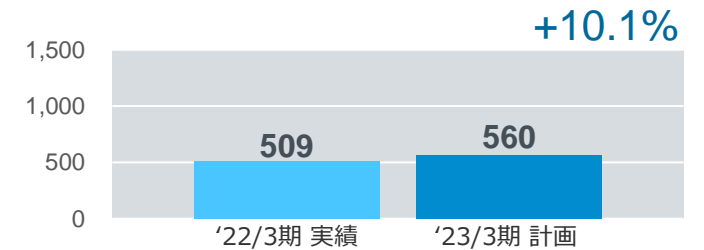
通信



- 通信分野全般 ▲11



事務機

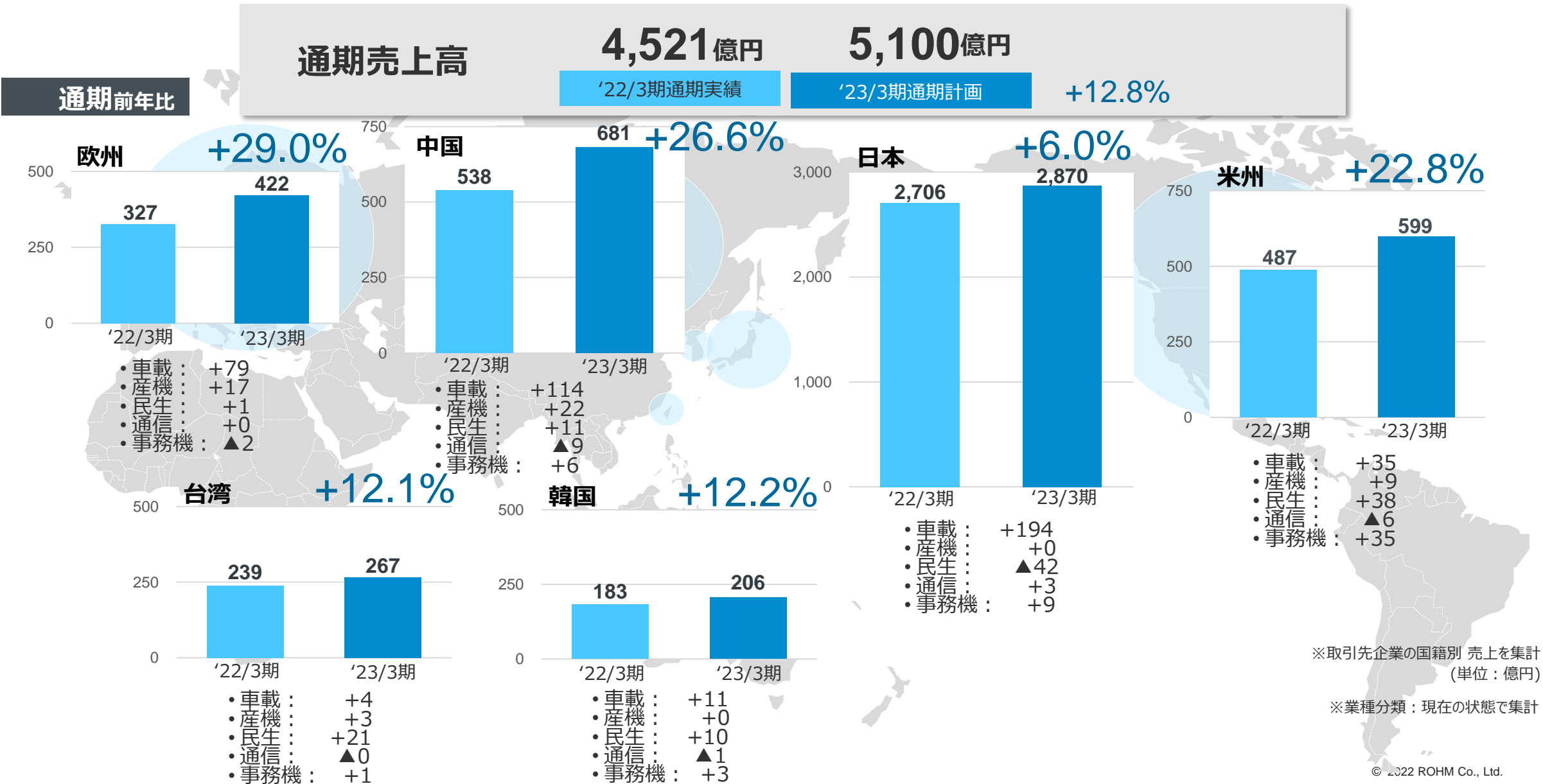


- PC、OA機器分野 +51
- 決裁端末向け +0

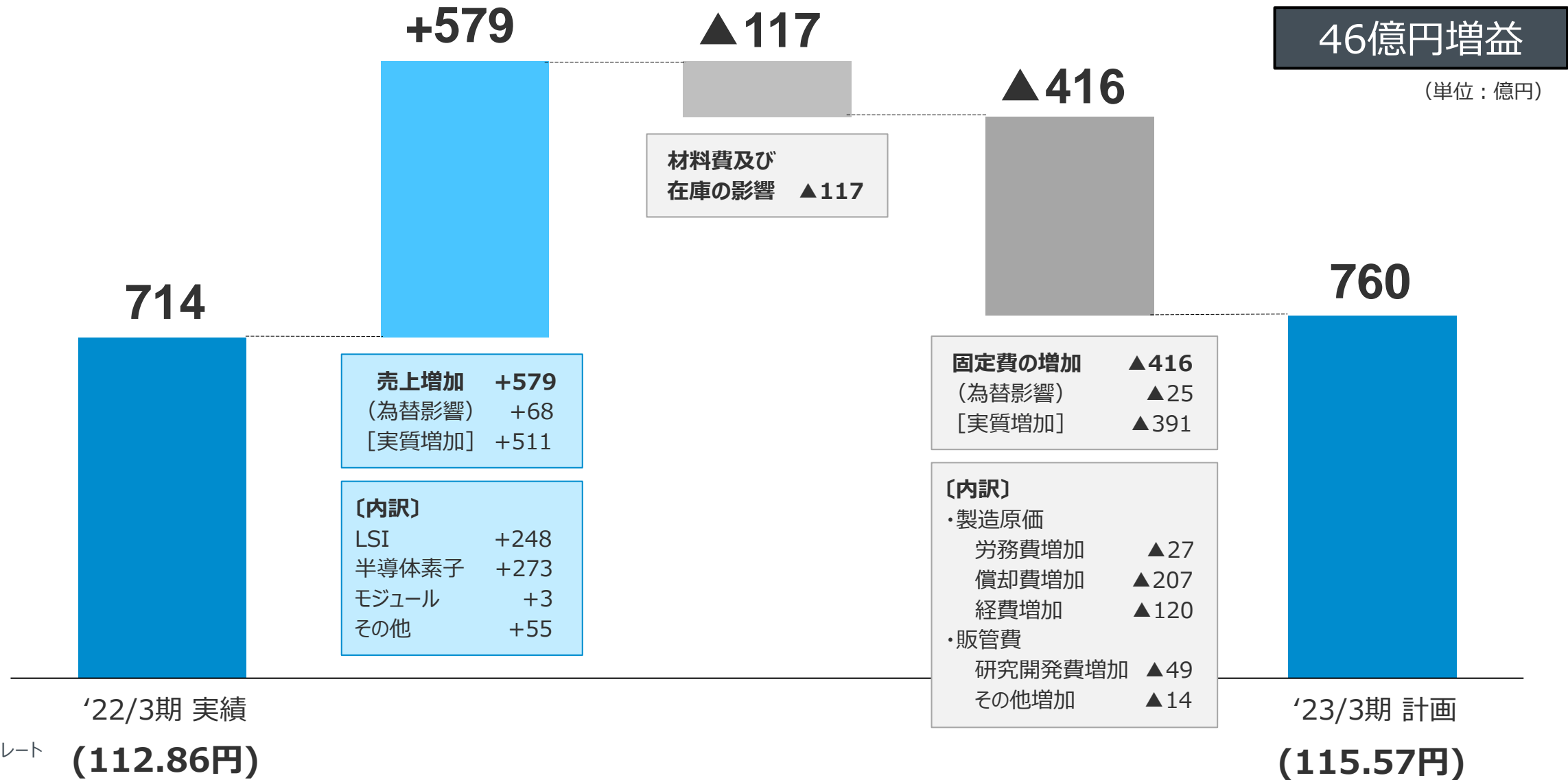


※業種分類：現在の状態で集計

2023年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 ('22/3期実績 vs '23/3期計画)

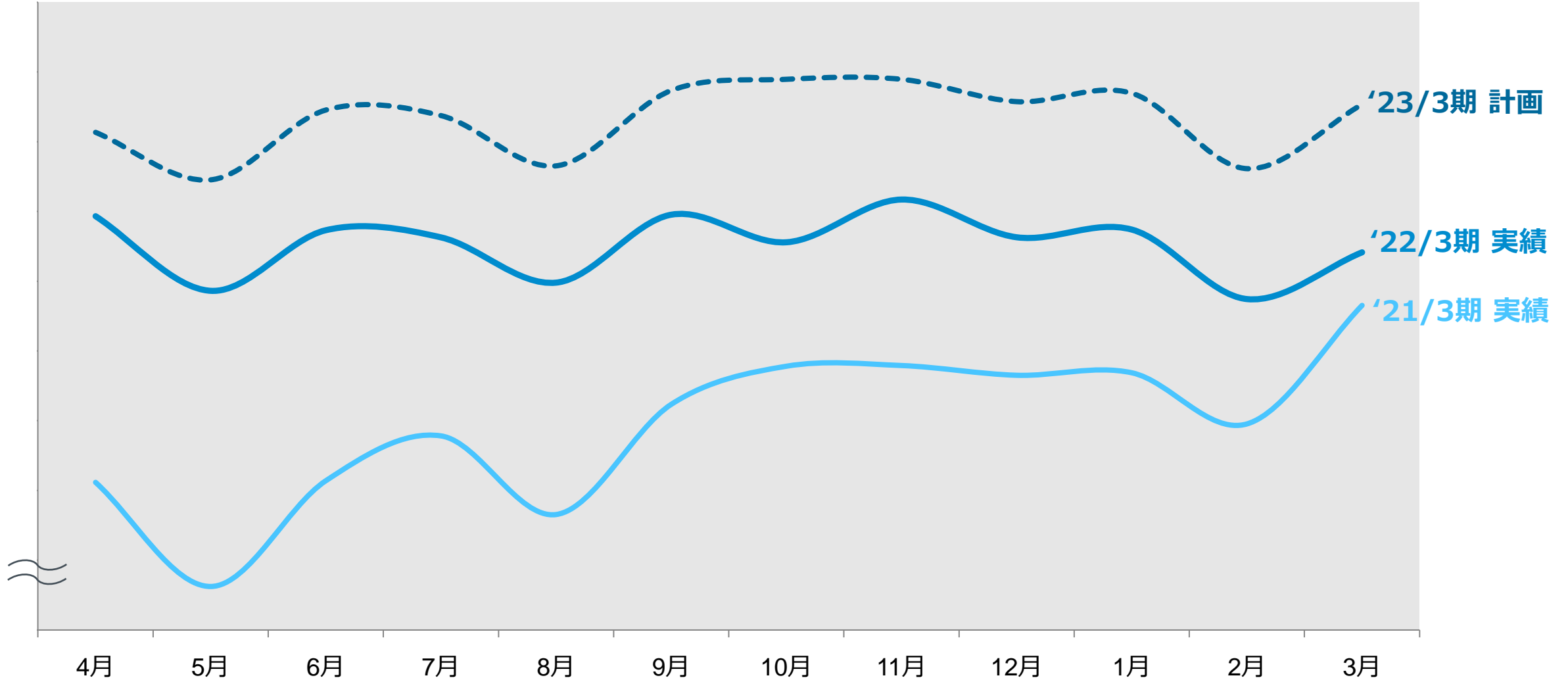


営業利益 増減分析 ('22/3期実績 vs '23/3期計画)

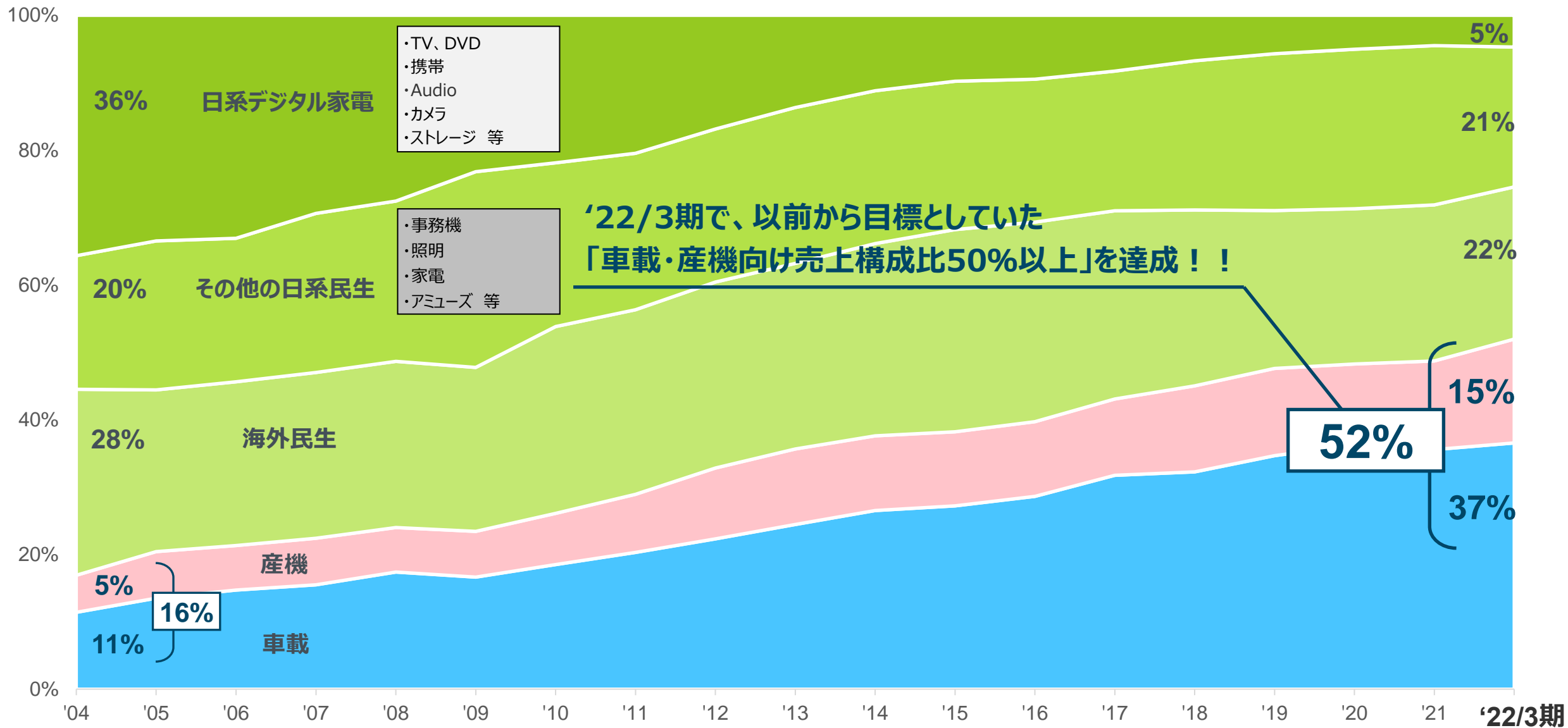


期中平均レート
(¥/US\$)

※為替影響を除く

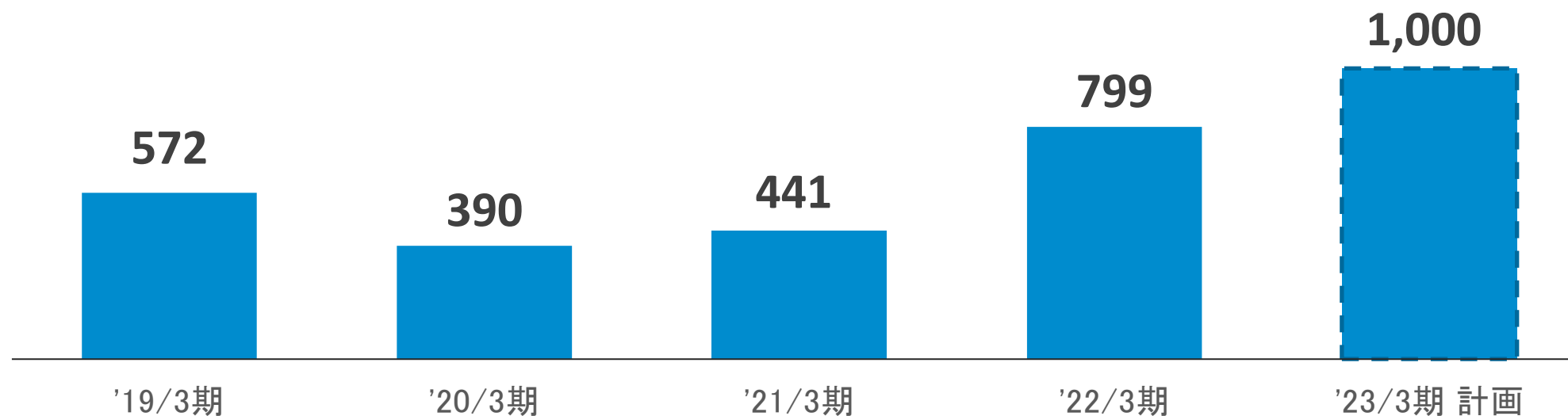


市場別売上構成比推移

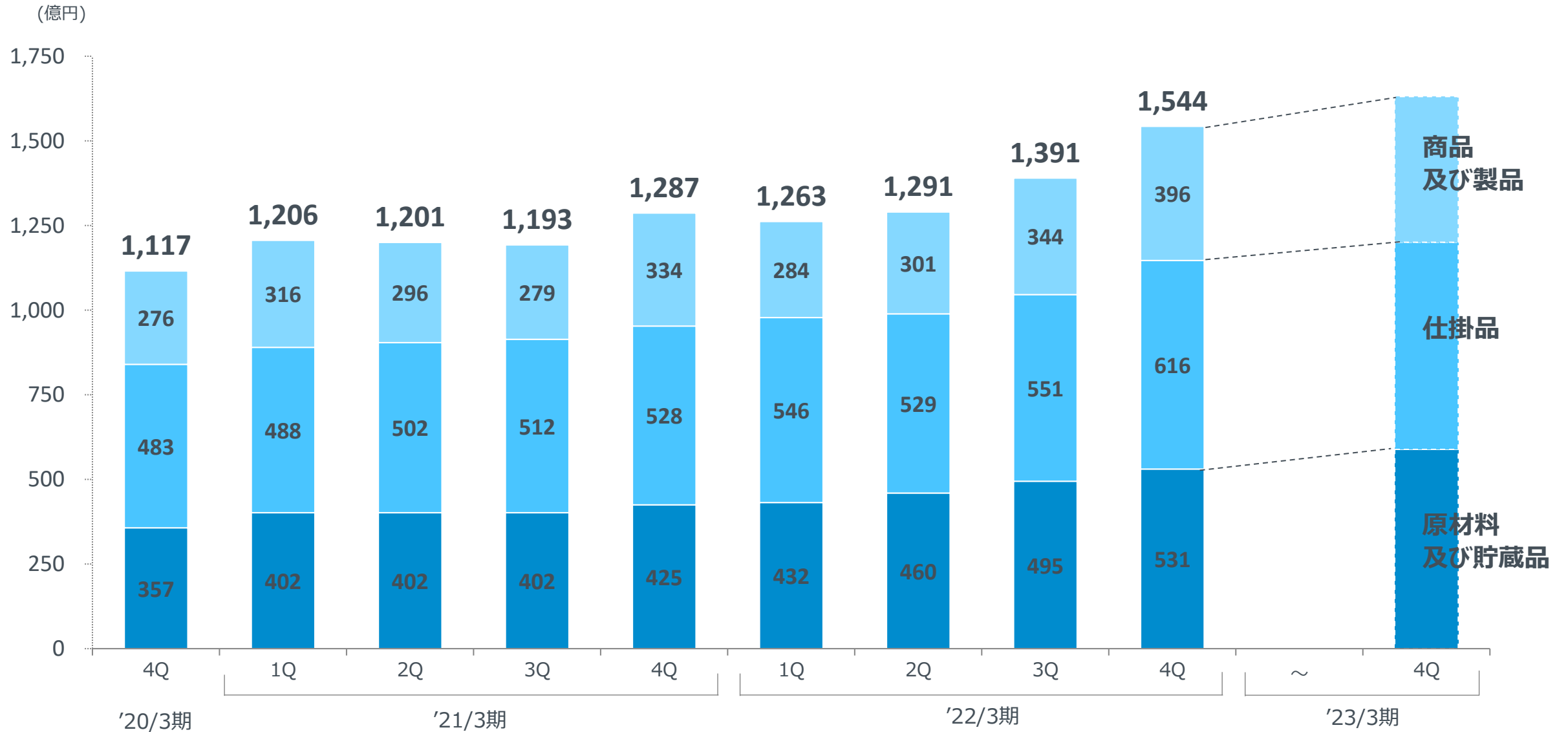


(億円)

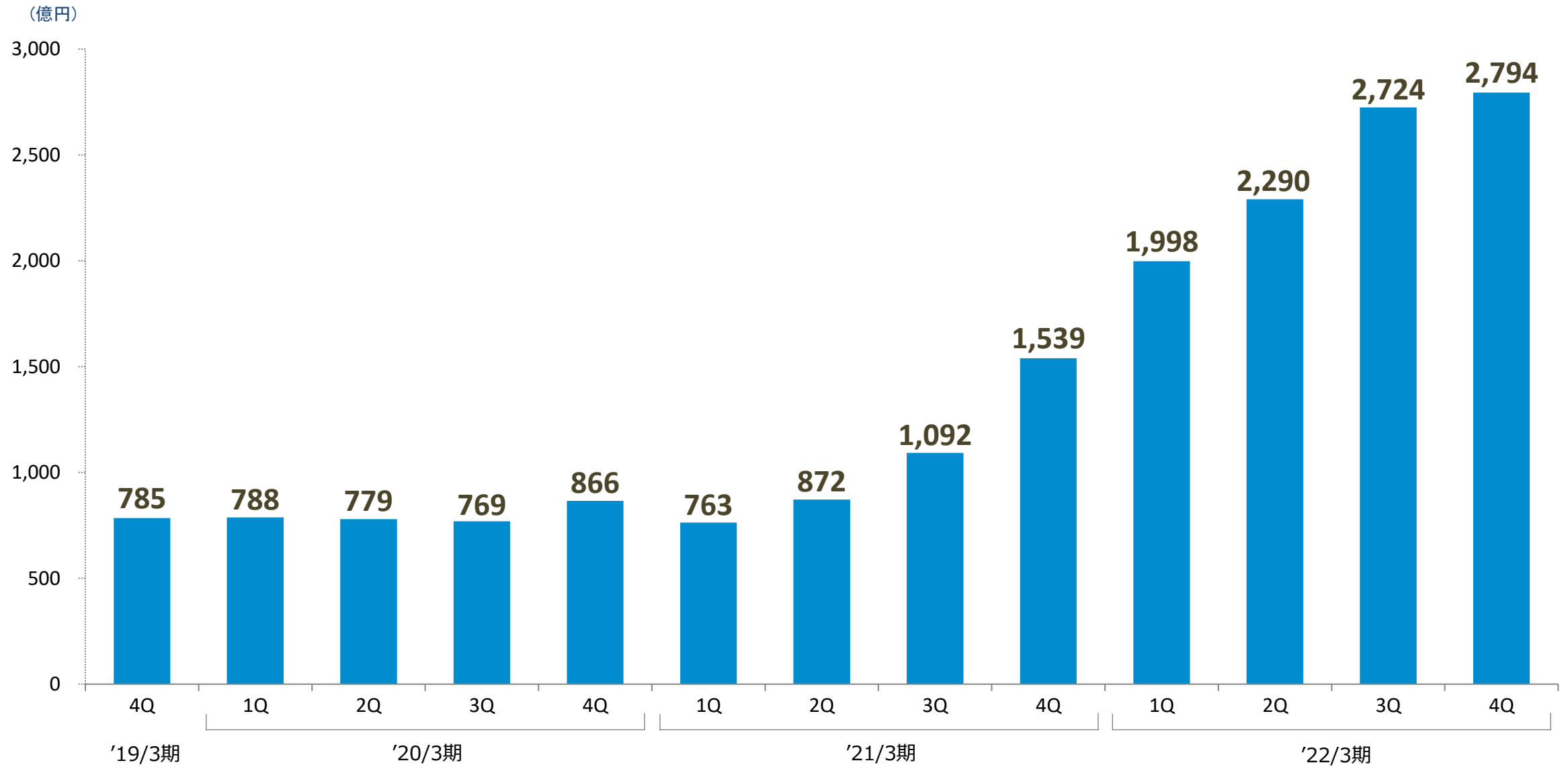
	合計	生産能力向上	土地・建物	品質向上	その他
'21/3期 実績	441	122	160	27	132
'22/3期 計画	700	377	157	31	135
'22/3期 実績	799	452	198	19	130
'23/3期 計画	1,000	513	354	20	113



在庫の状況 (金額)

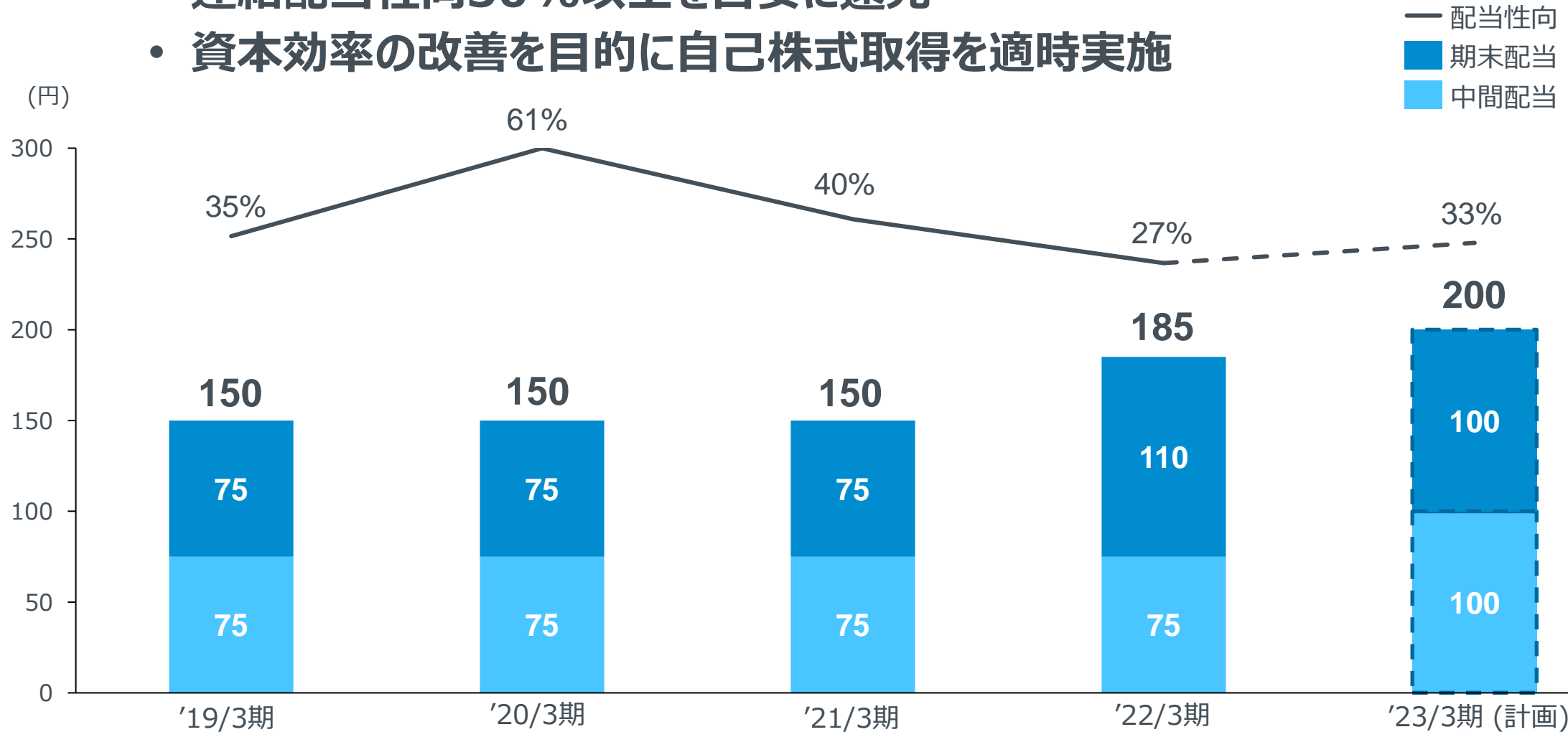


受注残高の推移



還元方針

- 連結配当性向30%以上を目安に還元
- 資本効率の改善を目的に自己株式取得を適時実施



中期経営計画(MOVING FORWARD to 2025)

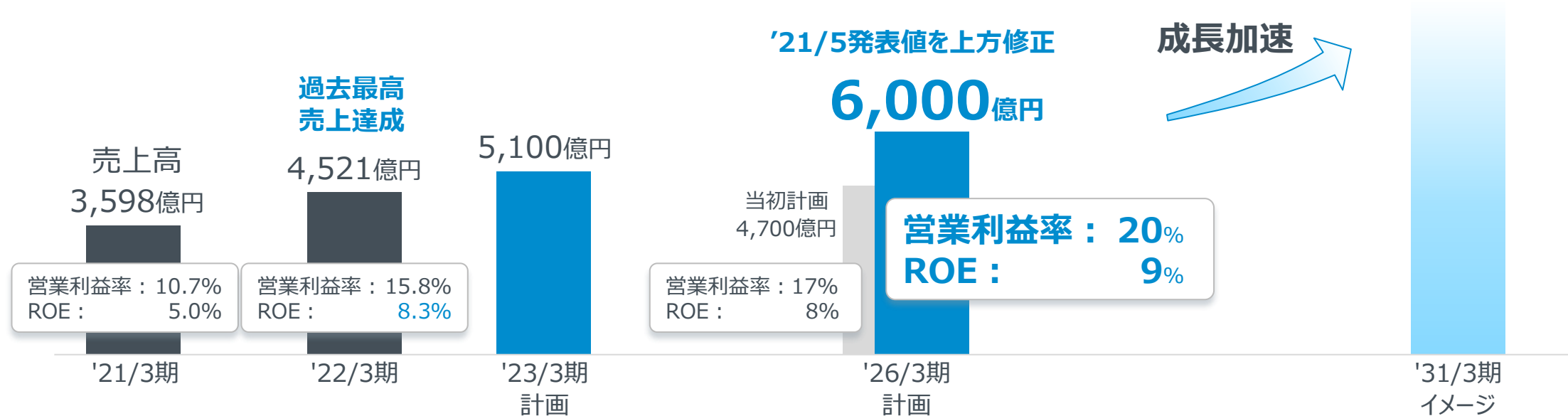
2021年度～2025年度

2030年度

"車載" "海外" での成長実現と更なる成長に向けた基盤作り

グローバルメジャーへ

- 成長軌道へ戻す5年
- 電動車市場でグローバルトップシェア商品の確立 (SiC、絶縁ゲートドライバ)
- 海外売上比率 **50%以上** (当初計画45%以上)
- 収益体質の強化 (高付加価値商品による単価アップと生産効率の更なる向上)
- グローバルで戦える営業・開発体制の確立



'21/5発表の経営目標を上方修正

財務目標

売上高

6,000億円以上
(当初計画 4,700億円以上)

営業利益率

20%以上
(当初計画 17%以上)

ROE

9%以上
(当初計画 8%以上)

非財務目標 (抜粋)

環境 (2030年度)

- 温室効果ガス排出量**50.5%**削減 (2018年度比)
(当初計画 30%削減)
- 再生可能エネルギー
2050年度導入比率100%へ向け推進
- 廃棄物ゼロエミッション化

ダイバーシティ、従業員

- グローバル女性管理職比率15%
- 従業員エンゲージメントスコア業界平均以上

お客様

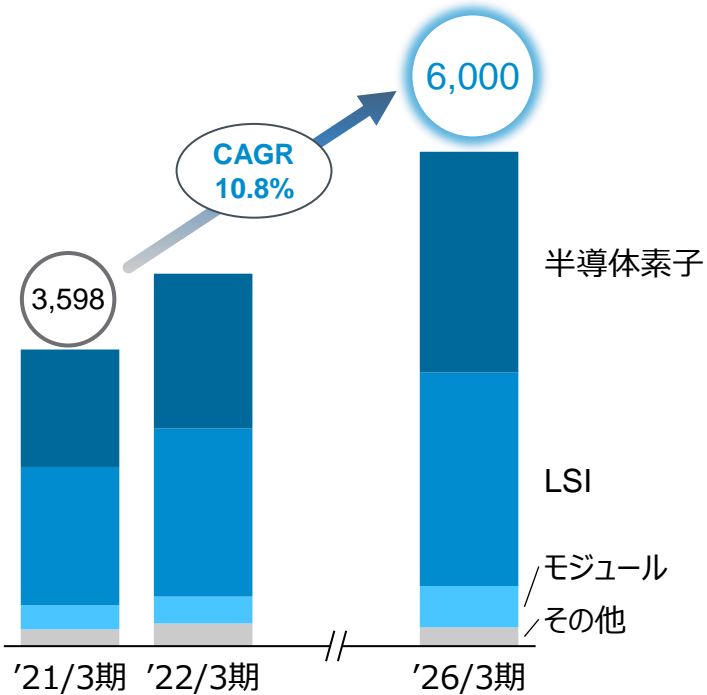
品質満足度スコア+10%改善 (2020年度比)

中期経営計画における全社の成長方針

パワーとアナログで車載と海外を中心に大きく伸ばす (方針変更なし)

中期経営計画の売上計画

(単位: 億円)



38% → 50%以上
海外売上比率

各事業の成長方針

伸ばす

成長の核となる事業で売上を大きく伸ばす

進化する

高付加価値化や海外シフト等質的変換を図る

創る

2025年度以降の成長の種を新たに仕込む

車載



産機



民生



半導体素子	パワーデバイス	<ul style="list-style-type: none"> SiC-MOS第4世代シェア拡大 Si-MOS第6世代 5G/6Gサーバー・基地局参入 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ家電向け高効率商品を拡大、海外展開加速 IGBT FRD Si-MOS
	小信号デバイス	<ul style="list-style-type: none"> EV主機インバータ向けSiCパワーモジュール開発 電動車主機インバータ向けIGBTデバイス開発 	
LSI	LSI	<ul style="list-style-type: none"> 小型化による高付加価値化とキャッシュカウ事業としてトップシェアの維持 需要変動に対応できる生産体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> 小型化・高効率商品で民生売上を維持 省エネ家電向け IPM、ACDC
	モジュール その他	<ul style="list-style-type: none"> 電動車向け商品強化 海外車載参入拡大 絶縁ゲートドライバ 電源LSI (PMIC) LEDドライバ 	
モジュール その他		<ul style="list-style-type: none"> 自動運転支援モジュールやセキュリティ(認証)向けのセンシングデバイスに注力 	

- 「環境ビジョン2050」の達成に向け、「温室効果ガス排出量削減目標」を引き上げ、
- 再生可能エネルギーの積極導入など環境負荷軽減への取り組みを加速

当社グループが目指すサステナビリティ経営における重点課題



SDGs重要課題 (マテリアリティ)	項目	2030年度へ向けた目標
 気候変動 温室効果ガス排出量 実質ゼロ	温室効果ガス削減	排出量を2030年度に 2018年度比30%削減⇒50.5%削減に引き上げ 排出量原単位を2030年度に2018年度比45%削減
	再生可能エネルギーの導入促進	2050年度に導入比率100%を目指し、再生可能エネルギー化を推進
 資源循環 ゼロエミッション	資源の削減	水の回収・再利用率を 2030年度に2019年度比5.5%以上向上
	廃棄物量の削減	2030年度に廃棄物のゼロエミッション化
 自然共生 自然サイクルと 事業活動の調和	緑化の促進	各拠点において工場緑化を促進 地域ごとに生息している生物の保全状況を改善
	化学物質管理の徹底	化学物質に関する世界各国の政策・規制への対応・ 管理の徹底、化学物質の使用量削減

2022年度 再生可能エネルギー 導入拠点



SiCrystal (ドイツ)



ローム・アポロ (福岡・筑後)



京都



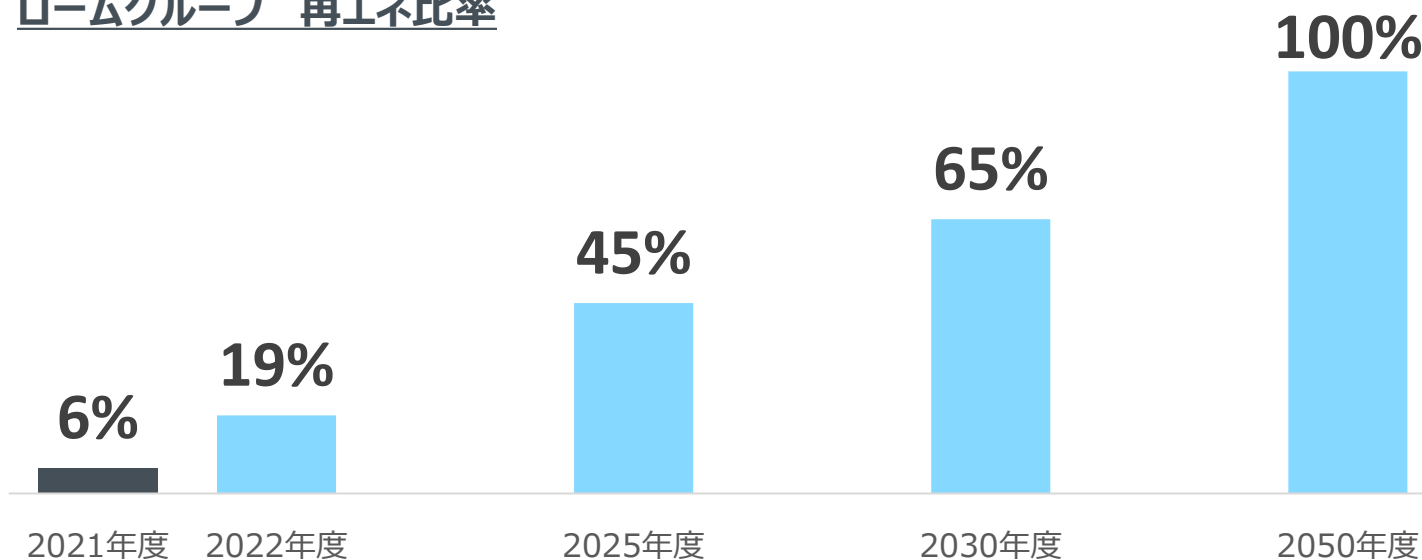
新横浜

NEW



RIST (タイ)

ロームグループ 再エネ比率



2050年度
再生可能エネルギー100%へ

RE100





最高位
「プラチナ」獲得



水資源管理調査で
最高評価「Aリスト」に選定



FTSE4Good

19年連続



FTSE Blossom
Japan

6年連続

ESGインデックス
連続選定中

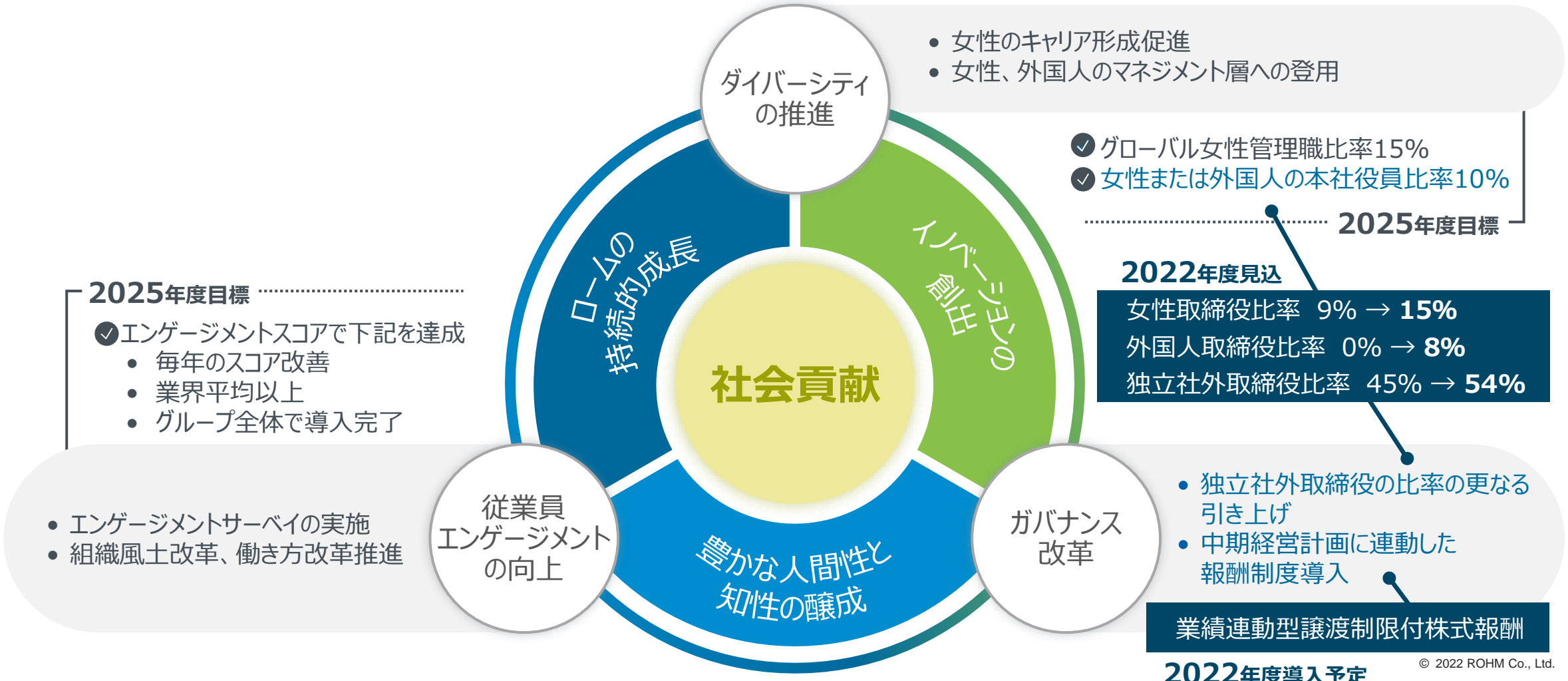


SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

GHG削減目標
「1.5°C水準」に認定

- 豊かな人間性と知性を磨いた多様な社員が、高いエンゲージメントを維持し、継続的にイノベーションを創出
- 実効性のあるガバナンス改革と併せ、企業の持続的な成長を実現



- 手元資金を5年間で段階的に圧縮し、2025年度には年間売上の50%程度とする
- 5年間で**5,000億円**を事業の成長に向け投資し、加えて積極的な株主還元を実施する



- 次世代SiCデバイス開発
- パワーデバイス（SiC新棟8inch生産ライン、Si-MOS、IGBT生産ライン増強）
- LSI（12inch Bi-CDMOS生産ライン、絶縁ゲートドライバ生産ライン増強）
- 本社敷地内にモノづくり開発拠点設立
- 事業拡大や技術獲得のM&A、資本提携

*'22/3期～'26/3期の5年間

株主還元

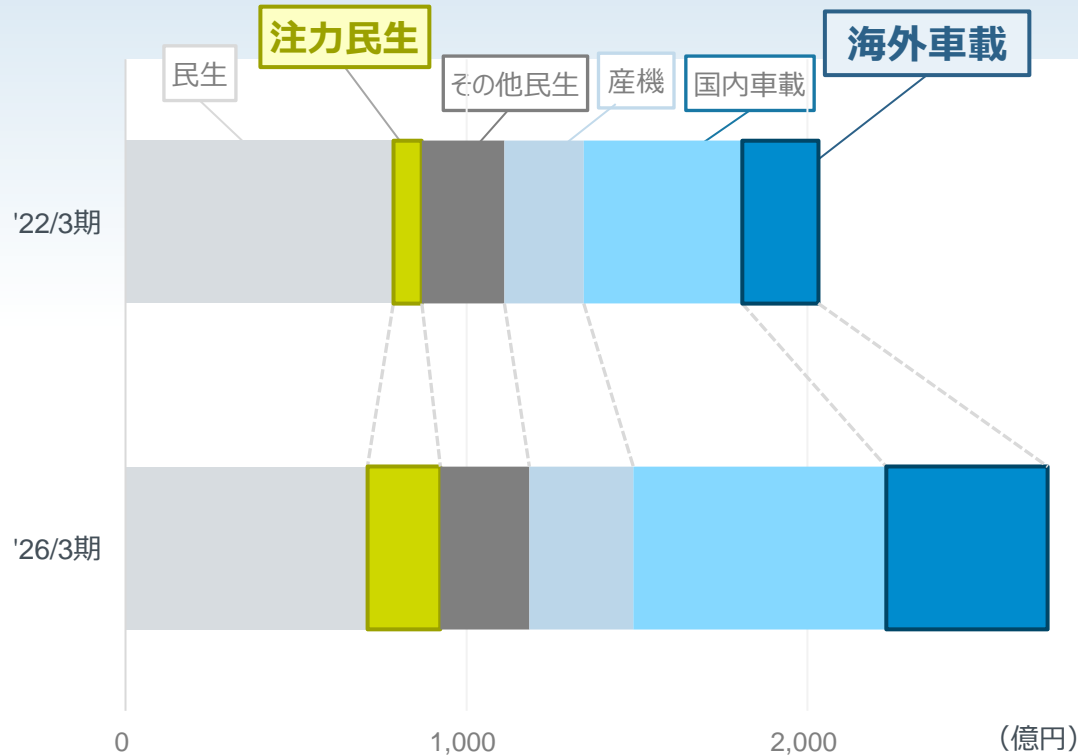
- 連結配当性向30%以上を目安に還元
- 資本効率の改善を目的に自己株式取得を適時実施

更なる売上・利益拡大のため、「車載では海外」、「民生ではサーバー・家電」を強化

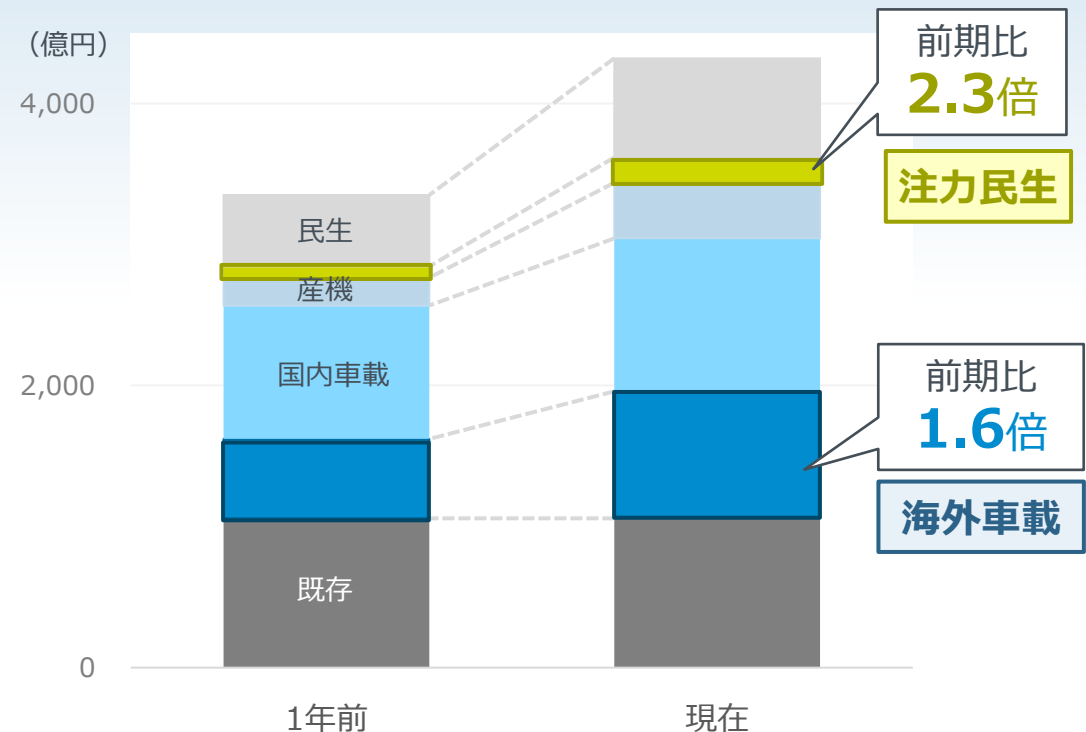
ロームの強みである顧客密着、IDM、擦り合わせの力をさらに強化し、売上拡大を図る。

長年培った高品質商品で、国内に加え海外車載、民生分野においては、サーバー・家電分野を強化していく。

分野別売上計画

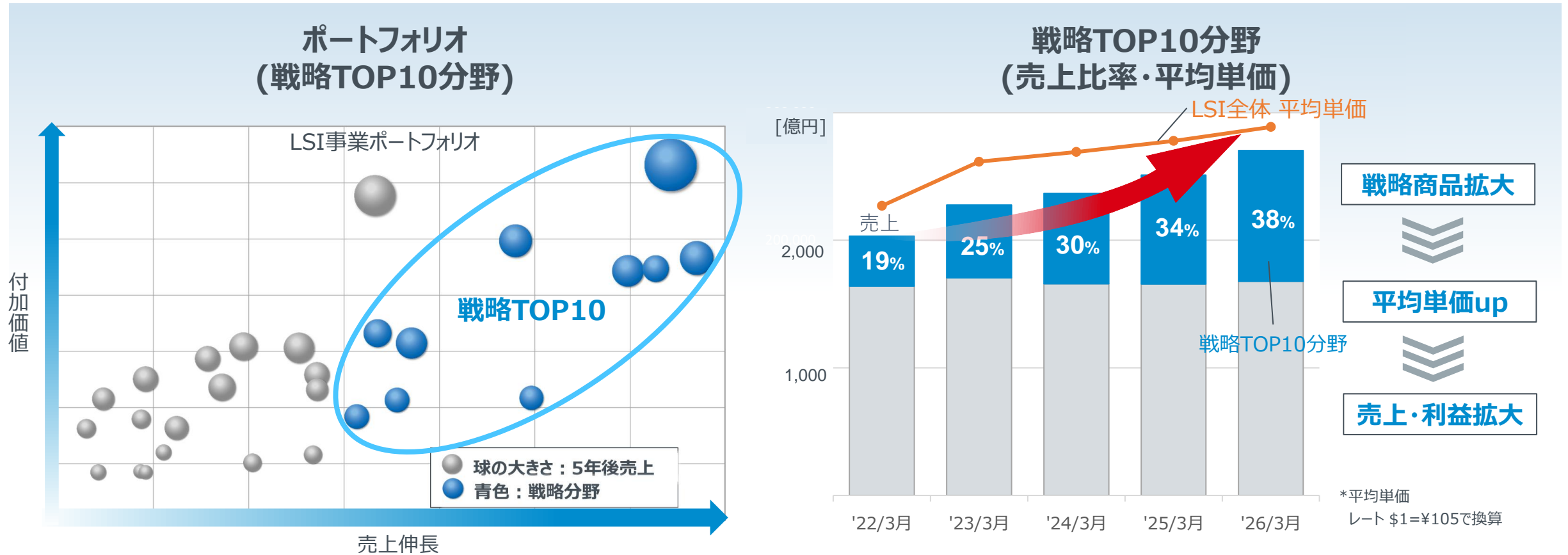


'26/3月期 分野別Oppo金額前期比較



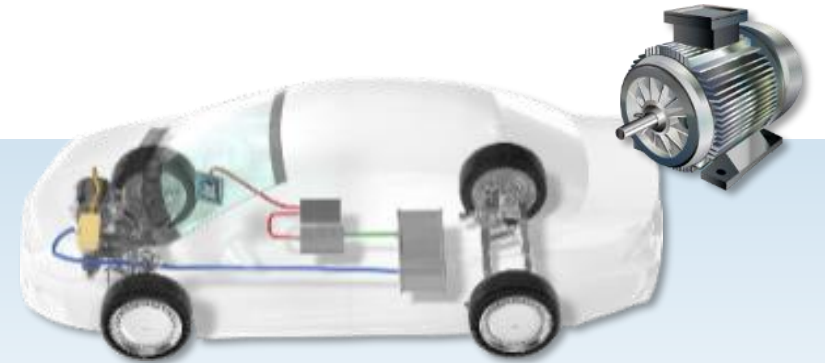
ASSP製品においては戦略TOP10分野を開発・サポート拡充

売上伸長・付加価値のあるASSP分野のTOP10を戦略TOP10分野とし、戦略TOP10分野の売上構成比を上げ、平均単価upと共に売上・利益拡大を図る。



*Lapis除く、ROHM LSIのみ

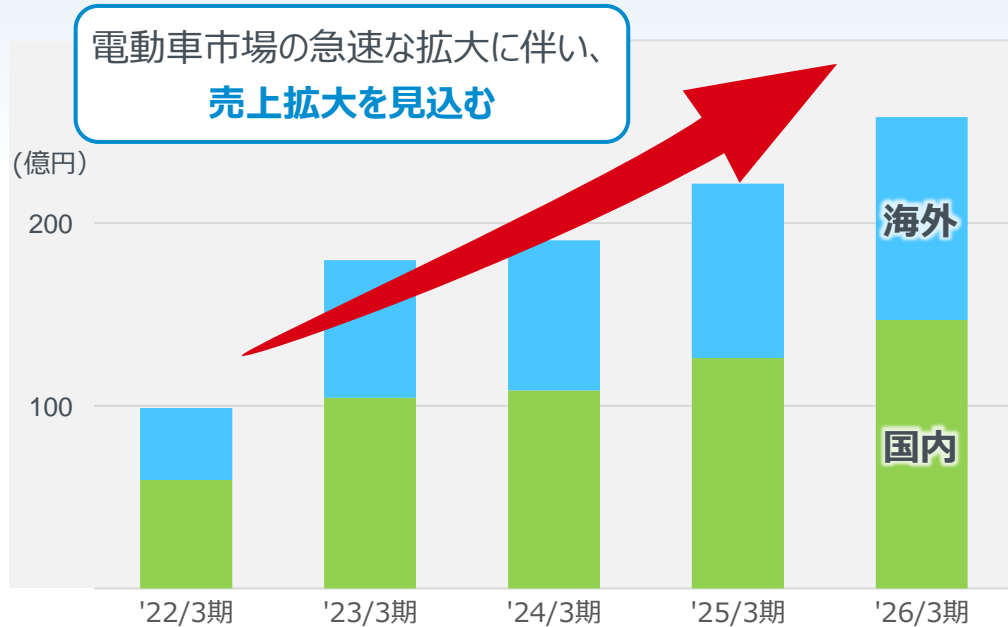
- ・ **高性能汎用ASSP**を軸に商品開発を進める
- ・ 特徴あるオリジナル **プロセス・回路技術**を強みに商品展開



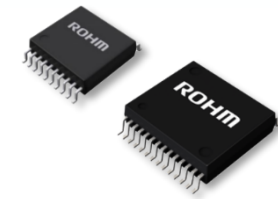
パワーソリューション

絶縁ゲートドライバ

独自のコアレストランス技術を実装。電源/温度モニタ/保護回路などを集積化。
PKGを含めた独自設計により、高ノイズ耐性、高信頼性を実現。



- ・ **国内大手ユーザ向けトップシェア維持。**
米・中ユーザ向けにシェア大幅拡大。
- ・ **20pin, 28pinに加え、**
38pinパッケージをラインアップ。
更なる多機能化。
- ・ 今後の数量増に対応するため、**マレーシア工場に新棟建設中。**
2024年量産開始予定。



トラクションインバータ向け絶縁ゲートドライバ 世界シェアNo.1

ゲートドライバ

**開発
スタート**

自動車用インバータの小型化を進めるため、SiCを駆動する磁気式絶縁ゲートドライバの開発に着手

目指したのは

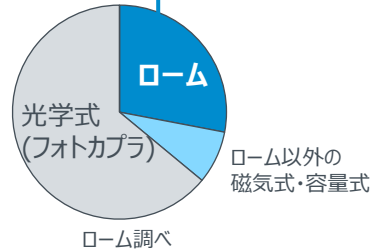
- ・車載環境下で確実に動作することを保証できること
- ・インバータのたゆまぬ進化に追随できる

Since
2008

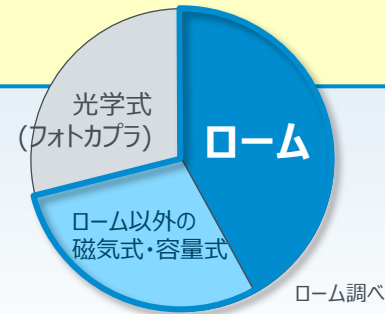
2016
2月

世界初

温度モニタ、電源をワンパッケージ化した磁気式絶縁ゲートドライバを量産開始



現在ROHMは自動車向け**磁気式+容量式絶縁ゲートドライバIC**の**約60%**の世界シェアを獲得

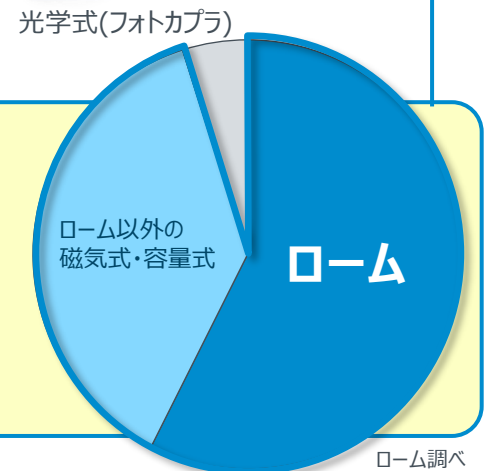


現状の
マーケット

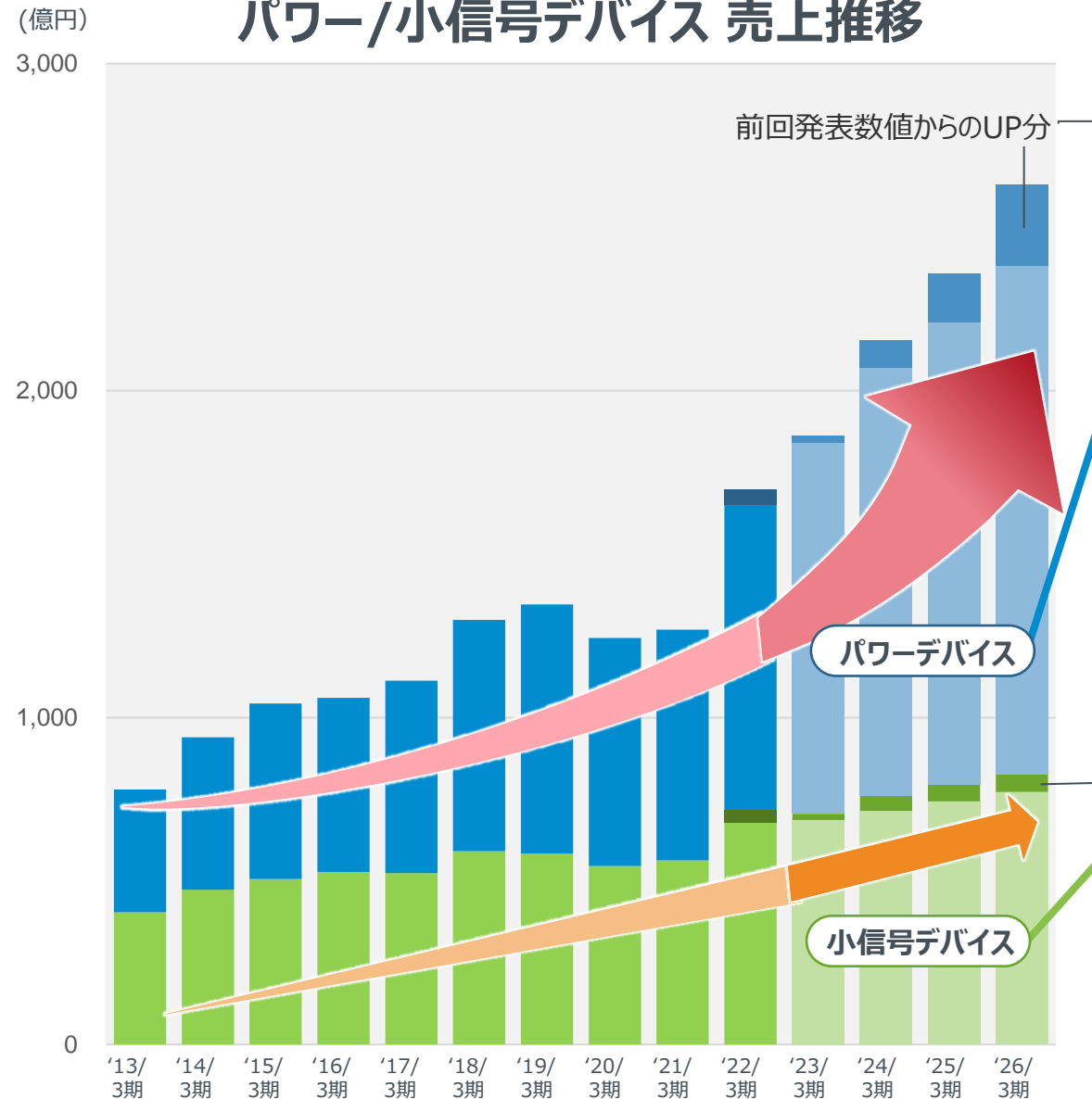


2026

- ・ますます強くなるEV車の小型化要求が磁気式比率を一気に広げる。
- ・ROHMは圧倒的なシェアをキープし、売上拡大を図る。



パワー/小信号デバイス 売上推移

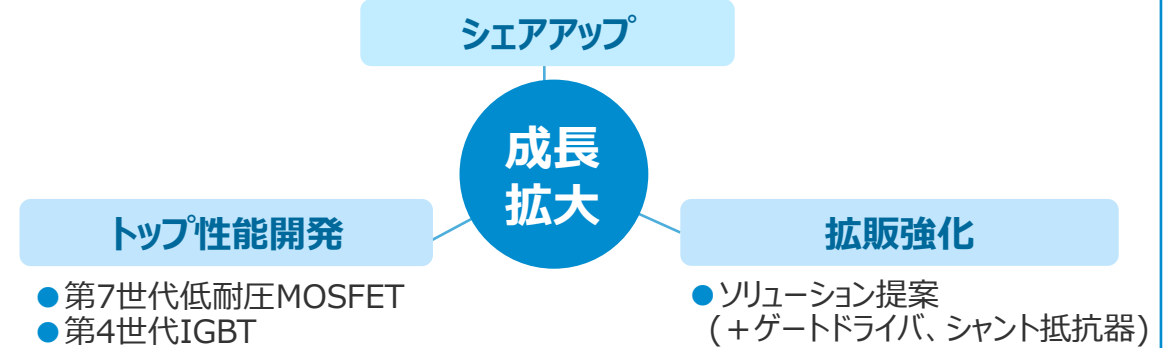


パワーデバイス事業

※ローム調べ

トップラインを上げ中核事業に成長

- WWシェア(2020年⇒2025年) 8位⇒5位※
(国内半導体メーカーとして4位⇒2位)※



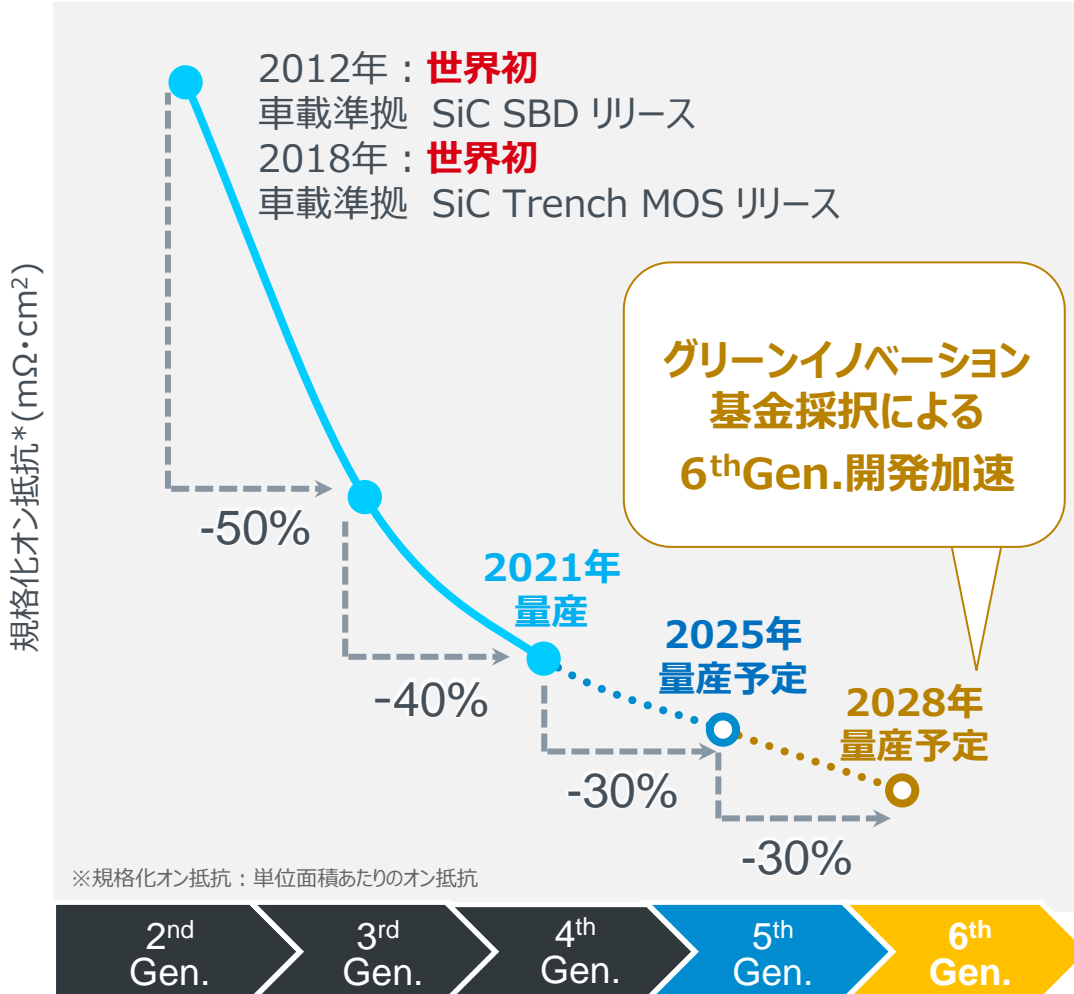
小信号デバイス事業

キャッシュカウ事業としてトップシェアを維持

- 在庫設計の見直し
- 平準化生産



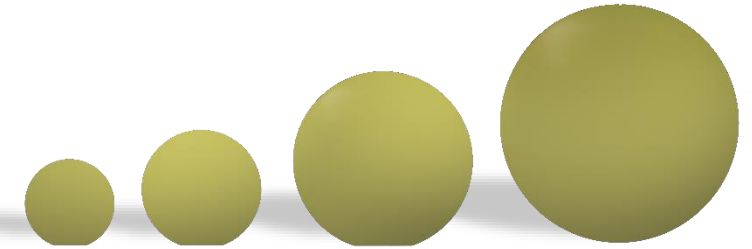
● 世界をリードする低オン抵抗化技術



● Wafer材料の大口径化による生産効率向上



SiCrystal
A ROHM Group Company



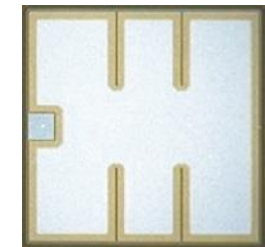
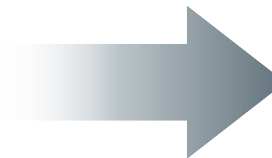
2017年
Φ150mm

2023年
Φ200mm

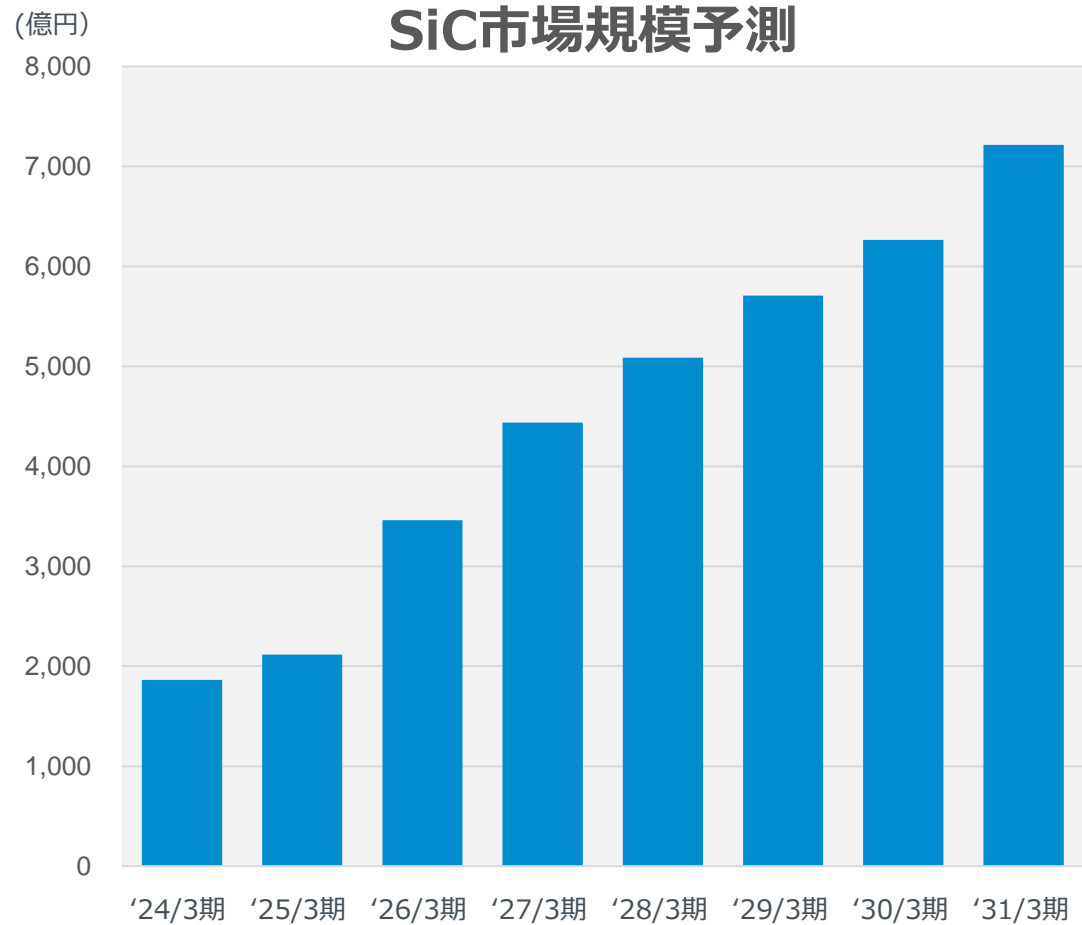
● 素子大型化による大出カインバータ対応



2015年~
25mm²



2024年~
50mm²



* □-△試算

'26/3期	
売上目標 (単年)	> 1,000億円
案件金額 (累計)	8,400億円 ('26/3期まで)
生産能力 (単年)	> 6倍 ('22/3期末比)
投資 (累計)	1,200~1,700億円 ('22/3期~'26/3期)

<ご注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2023年3月期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。

<お問い合わせ先>

ローム株式会社 広報IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
E-mail : ir@rohm.co.jp



Electronics for the Future